

## 地域とともに歩む畜産経営を目指して (合同会社いざなぎ牧場)

### ＜法人の概要＞

所在地：島根県隠岐郡西ノ島町

設 立：平成 19 年 1 月

資本金：300 万円      売上高：19 百万円（平成 24 年）

（うち農業：19 百万円、うち農業関連事業：0 万円）

役 員：2 名（うち農作業従事 2 名）

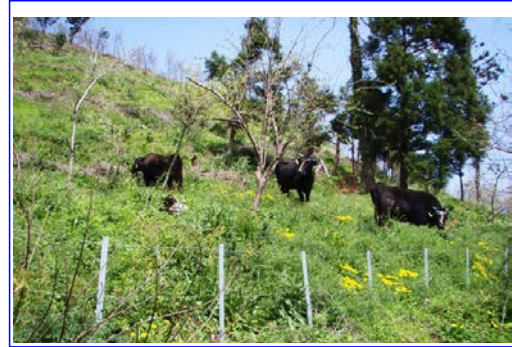
従業員数：3 名、うち農業従事者 3 名

経営面積：1.1 ha      飼養頭数：繁殖牛 73 頭      営農作物：肉用牛繁殖

農業開始時期：平成 19 年 7 月



牛舎及び堆肥舎



放牧風景

### ＜農業参入に至った経緯・動機＞

有限会社山下土木工事は、公共事業の減少する中、雇用の場を確保し、新分野に進出することを模索する中、町の基幹産業の「農業（畜産業）」に着目し、平成 19 年 1 月に「いざなぎ牧場」を設立した。水産業への参入も検討したが、生産から流通のリスクが大きいとの判断から断念した。地域で多くの畜産農家が行っており、広大な公共牧野を活用した低コスト経営が期待できるから新規参入でも十分可能性はあるとの判断から農業参入に至った。

### ＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

農業参入を決めてから営農開始するまでに、牛舎と繁殖牛の確保が必要であった。牛舎は町が所有している施設を無償で借り受け、繁殖牛は県の補助事業、農協事業等を活用して 32 頭を導入することができた。

また、粗飼料の確保には、町内の遊休農地を借り受けて飼料作物の作付を行った。できるだけ初期投資の軽減を図りながら、営農をスタートすることができた。

＜営農開始から現在まで＞

現在、繁殖牛 73 頭を所有し、年 3 回開催される市場に子牛を出荷している。平成 24 年は 48 頭の子牛を出荷することができた。

畜産経営開始 3 年間は手探り状態であったため、子牛 1 頭当たりの販売単価も伸び悩んだが、4 年目に経験豊富な若手従業員を採用し少しずつ売上を伸ばすことができている。

しかし、飼養管理技術や受胎率の向上、粗飼料の確保等まだ課題もある。

また、畜産経営開始 5 年目に国の補助事業を活用して自牛舎等を建設することができ、経営の拡大を図っているところである。

＜今後の農業経営の展開方向＞

現在、繁殖牛 73 頭を所有しているが、3 年後までに 100 頭まで増頭し、年間 70 頭の子牛を市場に出荷し、経営を安定させていきたいと考えている。

また、意欲ある若手従業員を雇用し、後継者の育成にも力を注ぎたい。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞